小ブルジョア党排撃の聲明書

労働農民党が樹立されて以來、所謂右翼指導者は此の單一協同戰線党を破壞しやうと幾度か試み、その爲彼等の分裂政策の前に、我が無産階級の戰線統一は挫折し、離合集散せしめられた。然るに無産大衆がやがて彼等の階級的裏切りに対し、結ミ自らを守り得るに至り、意識的に之と闘ひ得るに至らんとするや、彼等は意識的に反動化して、小ブルジョア党を結成し、階級闘爭を否定して労農大衆の運動に積極的に対抗せんとした。

農民党、関西民衆党、総同盟の新政党樹立計画は即ち之が所産である。農民党はブルジョア野心家により、ブルジョア政党と衆應して作られたものであって、之により農民大衆を欺き、之等野心家の私利私慾をほしいまゝにせんとするものであった。右翼指導者の右翼結成計畫は先づ農民組合を分裂せしめ、その一部をかゝる野心家のブルジョア党に賣りつけた。農民党は斯くして出来たのである。その唱ふる産業文化の開發が農民への單なる欺瞞に過ぎぬ事は言ふ迄もない。関西民衆党は、代議士候補中心の地方政党として結成されたもので、労農大衆の政治闘爭の爲めに結成されたものではない。此の党には何等の政策、目標すらなく、たゞ小ブルジョア的野心家の利益があるのみである。

總同盟の新政党は『純右翼』のみの結成、完全なる『右翼聯盟計畫』の発展の上に立てられんとするものであって、階級闘爭を否定し『無抵抗合法』のブルジョア自由主義者と結托してつくられつゝあるものである。之は寧ろ之迄の右翼指導者の意識的反動化へ進出を意味するものであって、今や全面的に、労農大衆の階級的闘爭を撲滅せんとするものであり、右翼指導者の右翼的政治闘爭への轉向である。

之等三政党は、第一労農大衆の戰線統一破壞の反動的に意識化されたものであり、單なる右翼結成から反動的純右翼の結成へ向はんとするための結成であり、今や到るところに於て労農大衆に肉迫せんとするブルジョア的反動体である。第二に、之等は階級闘爭を否定し、合法、無抵抗を振りかざして労農大衆の闘爭に対抗せんとするものである。「彼等の唱ふる『社會的公正』は階級闘爭否定の欺瞞的表現に外ならない。」第三に、之等は代議士中心の政党であり、その矣に於て何等ブルジョア政党と選ぶところはない。何故なら、彼等自身が小ブルジョア乃至ブルジョア自由主義者のための結成に過ぎぬからである。第四に、之等は過去に於て幾多の罪悪を侵してゐる。労農大衆の戰線統一破壞を積極的にすゝめることによって組合を分裂せしめ單一政党への要望を彈圧し、肯んぜざるものを積極的に除名し、ブルジョア政党と結托して或ひは資金をそれに仰ぎ、以て完全に労農大衆をブルジョアに賣りつけんとした。

以上の理由によりて、之等の小ブルジョア党は決して、無産大衆の政